

県労連 あおもり

2019年11月5日 第350号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234

発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

年金下げな！ 青森・八戸・弘前で年金一揆

マクロ経済スライド廃止、減らない年金制度の確立、最低保障年金制度の創設、年金裁判勝利などを掲げた年金一揆が青森市・弘

増上のたぐさんの川柳 前市・八戸市で開催されまし
た。青い森公園で開催された
青森集会には組合員や支援
する市民団体・個人など65



八戸集会で講演する田村さん

集会後のデモ行進

名が参加しました。オープニングに年金者組合のコーラス「ひこぼえ」が登場、全員で「青い空は」「沖繩を返せ」「かけがえのない人生」を合唱しました。

主催者を代表して年金者組合東青支部の柳谷政志執行委員長が挨拶、年金裁判勝利、減らない年金を作るためにも安倍内閣の早期退

陣を勝ち取ろうと訴えました。壇上には絵入りの川柳が多数並べられ参加者が見入っていました。安倍内閣退陣などを掲げた集会宣言を採択した後、繁華街をデモ行進、市民に減らない年金制度の確立などを訴えました。

小中野公民館で開催された八戸集会には65名が参加

集会後のデモ行進

吉重女性部長の講演「女性の年金はなぜ低いか」を聞き、学習を深めました。

10月13日、青森自治労連第21回定期大会が青森市・アスパムで開催されました。大会に先立って中央本部の高柳副委員長が講演しました。

自治労連 定期大会

弘前支部委員長が挨拶、「マクロ経済スライドの発動により減らされ続ける年金は自分たちの世代はもちろんだが将来年金を受給する今の現役世代はより大変になる」と発言、世代を超えて闘うことを強調しました。

第21回定期大会が青森市・アスパムで開催されました。

東青労連 定期大会

東青労連は10月26日、第31回定期大会を県教育会館で開き、2019年度方針案を確認しました。議長に年金者組合の小池中氏を選出したあと、挨拶に立った東青労連議長長の沼山隆一氏は、保育士不足が待機児童の増えている大きな要因で、保育士の給与の増額と介護については保険料あつて介護なしの実態を批判しました。来賓の奥村榮県労連議長、藤原浩平共産党青森市議会議員から連帯の挨拶

をいただいたあと、活動方針案を提案し討論しました。民医労の代議員は、ストを構えての春闘だが地域に見える闘いが重要。働き方では「夜勤協定」の見直しと手当の増額を求めている。高教組の代議員は「1年単位の變形労働時間制」で、夏休みは「閑散期」という政府を批判。「1日10時間では夏休み前に倒れてしまう」と重ねて批判しました。7人の発言のあと、



方針案は満場一致で採択され終了しました。變形労働時間制も議論

安政政権は、公立学校の教員を対象にした1年単位の變形労働時間制度を導入するための公立教員給与と特別措置法(1971年制定・給特法)の改正案を臨時国会に提出しました。この制度は繁忙期は1日10時間働き、夏休みにまとめて休ませ年間通して8時間労働におさめるというも

教員に變形労働時間制



講演する高柳副委員長

利、平和と民主主義擁護のために奮闘してきました。木村繁高執行委員長は、「9条改憲を許さず、地域経済を発展させ、地域住民のいのちとくらしを守るために奮闘しよう」と呼びかけました。会計年度任用職員制度に関わる問題で臨時・非常勤職員を対象にした30回にわたる学習会・説明会を開催、32名を拡大しました。また八戸市営バス労組は粘り強い交渉で職場内に組合事務所の新設を勝ち取りました。

です。教員の残業があまりに多すぎるという批判を回避するための姑息な措置です。公立学校はブラックな職場と言われ、小中学校教員の採用試験の倍率が年々低下しています。2016年の文科省の公立学校教員の勤務実態調査によると、過労死ライン(月80時間超の時間外労働)は小学校で3割、中学校で6割で、全国の平均労働時間は小学校11時間15分、中学校11時間32分という苛酷な勤務になっています。10時間労働の後に部活動や他の業務をすることが予想されます。また、育児や介護などの両立も困難になります。

市区町村教育長の42.2%が導入反対、賛成は13.6%の調査もあります。全教や全労連も反対の運動を展開しています。政府がやるべきことは、①教員の定数増②無駄な業務の削減③「残業代ゼロ法」と言われる給特法の改正等を実施すべきです。

生命・医療・火災・自動車・・・

全労連共済

労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234

交付が決定していた「あいちトリエンナーレ」展への補助金が、9月26日突然不交付決定がされた。実行委員会会長である大村知事が、企画展「表現の不自由展」その後「再開を目指す」と表明した翌日だった。様々な意見や事実を正確に知ることもなしに、主権者である国民は、客観的な判断を下すことはできない。そしてその判断を表現する自由を奪われたなら、国民の声は無効となってしまう。「表現の自由」などの精神的自由は、民主主義を形成する上で必要不可欠な人権であり、その制限は他の経済的自由などの人権制限より、一層厳しい最小限の制約が求められるという「二重の基準」が適用される。政権に都合が悪いことは国民に知らせない、政権に都合が悪いことは表現させない。札幌で安倍首相の演説に対する一言のヤジで、法的根拠もないまま市民が警察によって排除された。第2次安倍政権発足後に、秘密保護法、戦争法、共謀罪が強行されたがそれは一体の戦時立法であり、戦争への道を批判し、平和を目指す言論を封殺するものである。その先には憲法9条改憲がある。目と耳と口をふさぐ、急速に進む「表現の不自由」は戦前の大本営発表を彷彿とさせる。勇気を持って、自らの意見表明が今こそ求められている。(奥)

年金・いのちのちのりで 裁判勝利！バーベキュー

青森年金裁判を支援する
会・いのちのちのりで裁判あ

おもりのアクションは10月14日、平内町夜越山で「ひろ



過去最高の参加者で盛りあがる

がれ笑顔！19秋のバーベキューを開催しました。八戸市・むつ市など県内各地からマイクロバスや自家用車で過去最高の164名が参加しました。青森市からは青森保健生協のマイクロバス2台を満杯にして多数参加しました。司会は今正則

県労連副議長が担当、奥村榮青森年金裁判を支援する会副会長は、「いのちのちのりで裁判と年金裁判を社会保障闘争の重要な取り組みとして位置づけ、労働組合とともに推進していることが評価されている」と紹介、継続した取り組みを訴えました。

2つの裁判の原告一人一人が紹介され、参加者から激励の拍手を受けていました。

ました。

来年ニューヨークで開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議に参加予定者を激励する集いを行いました。生活協同組合コープあおもりの川岸朋美さん、青森保健生活協同組合の池田一生さんは(弘前大学生活協同組合の渡邊風香さんは所用で欠席)、参加するにあたって決意を述べました。

ヒバクシャ国際 署名県民集会

「ヒバクシャ国際署名をすすめる青森県連絡会」は10月20日、青森市で県民集会を開催、県内各地から80名が参加しました。県連絡会は2016年12月に結成、21年までに20万筆を目標に取り組み、10月現在10万4198筆に到達、参加団体も県原水協や県生協連・県労連・県原水禁県民会議など33団体に拡大、積極的に活動を展開しています。

ヒバクシャ国際署名全国連絡会の事務局員の鈴木慧南さん(けいな、26歳)は、「繋いでいくことーわたしからあなたへ」と題して講演しました。鈴木さんは、2度にわたって国際NGOピースボートが主催する「ヒバクシヤ地球一周証言の航海」に参加、世界22か国32都市を訪問し原爆被害の実相と被爆者の想いを伝えてきた経験を話し感動を与え



左側が講師の鈴木さん

この集会には広島と長崎市で二重被爆を受けた福井絹代さん(88)も参加しました。

た。また弁護士団の葛西聡・橋場丈俊弁護士も参加、挨拶しました。焼きそば・焼肉各種・豚汁・イカ焼き・おにぎり、アルコールは日本酒・ビール・焼酎・ワインなどが準備されました。参加者全員で「ふるさと」「手のひらを太陽に」「一人はみんなのために」などを歌い、楽しいひと時を過ごすとともに裁判勝利の決意を固めました。

10.28から社保 協キャラバン

安倍政権は、「団塊の世代」が75歳に全員到達する2025年までに「全世代型社会保障改革」と称して、社会保障の大改悪を強行しようとしています。そのため司令塔として労働組合や現場の当事者を排除した財界や官邸お気に入りメンバーで構成された「全世代型社会保障検討会議」を発足させました。改悪が想定されるものは、①年金の繰り下げ支給②介護サービス利用の1割負担③ケアプラン作成の自己負担④要介護1、2の生活サービスの市町村への移行⑤後期高齢者の医療費2割負担等々です。県社保協は、10月28日から11月にかけて例年実施している40自治体を訪問して社会保障や子どもの貧困や就学援助について懇談することになっています。

平和学習会

12月1日(日)

青森市・県民福祉プラザ
講師 齊藤光政(東奥日報・論説編集委員)

演題「『基地県アオモリ』の過去と現在、未来」

青森県は陸海空の三自衛隊と三沢米軍基地が存在するなど沖縄に匹敵するほどの軍事基地が集中しています。

齊藤氏は、日米軍事基地調査の第一人者で沖縄などの大学の公開講座の講師を務めています。

●県労連第36回評議員会
12月7日(土) 14時
県教育会館

議案①定期大会以降の闘いの総括②2020年春闘方針③その他

●高田健講演会
12月14日(土) 13時半
県労働福祉会館4階

講師 高田健氏(総がかり行動実行委員会共同代表)

演題 「新しい段階を迎えた改憲問題と私たち」

第348回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およせ



まちがいは7つ



ください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。
●締切 12月15日
●発表 11月号
●宛先 030-0852
青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第348回まちがいがし」係りまで。

第346回の答えと当選者
《答え》①おじいさんの髪の長さ②子どもの腕③おばあさんの首回り④右の女の子の髪⑤車いすのタイヤ⑥花壇の真ん中の花⑦花壇の左端の柵
《当選者》18通の応募でした。当選者は次の方々です。
田端深雪(県教組)、村上美津子(年金者組合)、田中朝子(年金者組合)、橋本ナオ子(県教組)、坂本豊(農民組合)



ついに10%

の増税が始まりました。まだあきらめてはいけません。私だけではないと思います。みんなの力で消せるといいですね。(村上美津子・年金者組合)

消費税増税

となった。子育て支援と国の借金返済に充てられるというが、そもそも軍事費減らせば増税しなくても良かったのでは。(小田桐智恵子・全労働)

朝から台風

のニュースが続いている。

やはり地球温暖化による異常気象が多くなっていると感じる。16歳のグレタさんの訴えを聴こうともしなかった安倍首相。「セクシー」と訳のわからない発言をする小泉環境相……。これで日本大丈夫？恥ずかし、情けない。実質2割の支持しかないのに国を牛耳っている。無関心は恐ろしい。(田端深雪・県教組)

今年の夏

は雨が降る日がありません。土地が乾いて秋野菜がピンチです。(中村龍平・建交労)

関西電力の八木会長

岩根社長を含む幹部20人に7年間で3億2千万円が還流していたことがバレた！。(坂本豊・農民組合)

稲の成長

は順調です。今年はお穂も3日ぐらい早くまりました。刈取りも3日くらい早まります。温暖化の影響かと思いますが、確実に稲の生育が早まっているのが実感されています。怖い気がしています。(坂本豊・農民組合)

プランターに植えた

白目の元にさらけだされたものの氷山の一角だろう。どこの電力会社にもある原子力ムラの暗い闇のひとつ。(長内一・建交労)